



1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校では、「徳・知・体の調和がとれた、人間性豊かでたくましい生徒を育成する」を学校理念として、ESD を、全教職員の共通理解のもと「社会に貢献できる人材の育成」を目標としている。

主な活動として、「福祉」「将来に向けて」「防災・減災」を中心に、互いに支え合いながら社会が成り立っていることを学び、今、何をすべきか考え行動に移せる生徒の育成を目指している。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 「福祉について」

1年生の総合的な学習の時間で「誰もが安心して暮らせる社会になるために」福祉を学んだ。

福祉を学ぶ高校生や大学生から介護・医療・保育などを学び、自分たちが様々な立場の方々から支えられていることに気付くことができた。将来福祉に関わる資格取得やボランティア活動など自分たちにできることはないかを考えるきっかけになった。

また、認知症について学習し、みんなが支え合って生活をしていること、自分たちにできることは何かを学習した。



○「職業人に聞く」

2年生の総合的な学習の時間で「様々な職業人に聞く」で、働くことの大切さ、生きがいについて学んだ。

たくさんの職業の人から仕事のやりがいや、職業を選んだ理由などを聞き、今の自分たちが将来、職業選択をする上での心構えなどを学び、社会が、様々な立場の方々から支えられ、成り立っていることに気付くことができた。



○もしも災害がおこったら・・・「心肺蘇生法」

3年生は総合的な学習の時間と保健体育の授業の一貫として心肺蘇生法を学んだ。

救急救命士をゲストティーチャーに招き、心臓マッサージやAEDの使い方などを学び実践することができた。いつ自然災害が起きてもおかしくない環境になっている中で、どんなときでも冷静に勇気をもって対応できるようになってもらいたい。



3 今後の活動計画

令和6年度は、現在の白光中学校のESD教育の柱である「福祉」「職業」「防災・減災」を基盤に、未来につながる教育をめざし、人権教育をはじめ、環境問題など、中学生が今、何をすべきか、できることは何かを考え、将来を見据えて取り組める充実した活動を進めていきたい。そのために、多くの職種や専門的な知識をもたれる方をゲストティーチャーとして招き、幅広い分野での視野を広げていきたい。

- 1 学年 福祉教育、人権教育
- 2 学年 世界平和、防災・減災、職業体験
- 3 学年 人権教育、防災・減災、進路選択